

マンツーマン・コミッショナー チェックシート

平成 年 月 日() 会場:
対戦カード VS

記入者:

※「正」で確認された回数を記録してください。太字は重点項目。	白()				濃色()			
	1	2	3	4	1	2	3	4
1 マッチアップ								
・マンツーマンの意識がみられない。(声、手、ポジション、触れる)								
2 プレスディフェンス								
・ダブルチームの連続が見られる。(マッチアップし直してからならOK)								
3 オンボールディフェンス								
・3Pエリア付近でもボールマンに1.5m以上離れてついている。								
4 オフボールディフェンス								
・マークマンを意識していない。(ピストル、ディファイなどのボールマンとマークマンの意識)								
・ヘルプサイドのディフェンスがミドルラインを越えている。								
・オフボールでスクリーンのない状態でスイッチしている。								
・オフボールのオフENSEをダブルチームしている。								

5 その他(気になること、チームからのアピールがあったこと、対応などをご記入ください。)

《マンツーマンコミッショナー マニュアル》

- ・TO席の後方にマンツーマン・コミッショナー席を設ける。
- ・両チームのコーチにマンツーマン・コミッショナーであることを伝える。
- ・ディフェンスの違反に対してのアピールは審判ではなく、マンツーマン・コミッショナーにすることを確実に伝える。
- ①ベンチから違反に対してのアピールがあり明らかに違反だと認められる場合
- ②明らかに意図的に違反を起こしている場合
- ③チェックシートに繰り返し違反が認められる場合(目安として1Q内で3回)
- ①～③のことが確認された場合、時計が止まっている時に審判に伝え、コミッショナーが両チームのコーチにTO席前で説明するとともに、審判が警告を与える。(改善されない場合にはテクニカルファウルを宣することをコーチに伝える。)
- ・コーチから選手への伝達のために、コートにコーチを招き入れマンツーマン・コミッショナーとともに説明をもらう。
- ・ゲームを再開し、明らかに改善がなく違反が認められる場合には、時間の止まっているときに審判に伝える。審判はテクニカルファウルを宣する。(2ショット・ボールポジション)テクニカルファウル後も同様に行われる場合には再度テクニカルファウルを宣する。(コーチに2回テクニカルファウルがついても退場とはしない。)

※違反が故意によるものでなく、うっかりしたもの、どうしてよいか分からずに起こっているものなどで、オフENSEに不利益となっていないものは厳格に取り上げない。明らかに意図的なもの、明らかにオフENSEに不利になっているもの(ダブルチームの連続など)は点差にかかわらず厳格に取り上げる。

※ゾーンディフェンスが禁止になるのは、ミニの年代では1対1の力、基本的な技術・技能、思考・判断の習得が大切なこと、目先の勝利にとらわれずに世界で戦える選手を育てるためなどをコーチに理解してもらうようにしていきましょう。

※何かトラブルが起こったとき、あるいは何か記録として残しておいた方がよいと思われる場合には、「5 その他」の欄に記入していただき、県ミニ連の競技部と審判部に報告をお願いいたします。